

白川町の歩き方 ～白川5（ご）エコツアー～

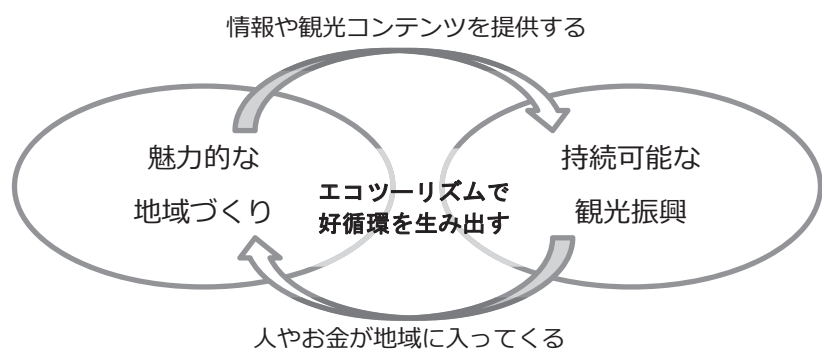
『美濃白川エコツーリズム推進基本計画』2012年度 第1版

白川町のエコツーリズムを考える会

(株)美濃白川クオーレの里

■ 白川町版エコツーリズムが目指すもの

『訪れた人が住みたく
なるような魅力的な地
域づくり』と『白川町
らしい持続可能な観光
振興』を目指します。



・ 白川町のひと・自然・歴史・文化を総動員

白川町の魅力に触れてもらうことが白川町のエコツーリズム

まずは町民がまちの資源を再発見し、まちを好きになり、ちゃんと誇れるようになる

町民が来訪者に自分の好きな「まちの魅力」を伝える

・ 町民の幸せのために

町民も楽しめるエコツーリズム（参加者もしくは運営者として）

課題解決型エコツーリズム（例：農林業の担い手がいない ⇒ 農林業体験ツアー）

・ 町民とのふれあいを通してちょっと長めに滞在してもらう（滞在交流型観光）

町民の何気ないおもてなし（笑顔、あいさつ、地域資源の情報提供など）

地域の情報を熟知した町民エコツアーガイド

来訪者への+aの情報提供による滞在時間の延長

■エコツーリズムとは

エコツーリズムとは、地域の自然に根付いた環境・歴史・文化・産業等を対象として、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域における資源の保全に責任を持つ観光のあり方です。

地域の自然・歴史・文化が持つ物語を分かりやすく、かつ楽しく来訪者に提供することをビジネスとして成立させ、地域の自然・歴史・文化を尊重し、守っていく行為にもつなげていく。これにより環境と経済の持続可能な好循環をつくることができます。

もともとは途上国における自然保護活動の資金調達のために用いられた手法ですが、国連が 2002 年を「エコツーリズム年」とするなど国際的にも定着しており、日本でも 2008 年にエコツーリズム推進法が制定され、各地で様々な取り組みが進められています。

■白川町の現状

白川町は山紫水明の山里であり、魅力的な自然体験を提供できるフィールドは多く点在しています。しかしながら、地域の観光業は「飲食・宿泊・販売」など極めて画一的であり、「学ぶ・体験（経験）する・ふれあう・発見する」など魅力的な観光体験を提供するために必要なキーワードの多くが欠けているため、地域の風土や資源を活かした交流体験の場は極めて少ないのが現状です。

白川町のような農山村地域の活性化は、地域資源を活かした交流人口の拡大を通じて、自然や文化・暮らしを多くの人々に伝えることで、ゆるやかにかつ着実に育まれます。地元には限界集落になりつつある地域の活性化を目指した活動が生まれていますが、個々のスキルや手法の不確かさもより具体的な活動に繋がっていないのが現状です。このような町民の活力を活かし、外部の専門家の力を借りることで、様々な町民の連携によるエコツーリズムを構築していきます。

■白川町版エコツーリズムのコンセプト

岐阜県で白川といえば、残念ながら白川村。わが白川町は世界遺産の白川郷の知名度には遠く及ばない、というのが現状です。しかし、白川町には人の営みが見える豊かな自然があり、その自然の中で生活している人たちがいます。また、5つの河川に育まれた5つの地域があり、それぞれの地域にはそれぞれの魅力があります。そこで、

白川郷もいいけど『**白川5（ご）**』

を基本コンセプトに、白川町の魅力を再編集し発信していきます。

■白川町のエコツーリズムのロードマップ

①ガイドマップ「白川5（ご）の歩き方」を完成させる

町内で活動している様々な団体、個人の知識やスキルを活かして、魅力的な散策コース、白川町の自然や人々の営みにふれるようなツアーなどを開拓し、ガイドマップに情報を盛り込んでいく。

②ガイドマップの情報などをウェブ上で発信していく

上記内容をホームページ（公式サイト、非公式のファンサイト、フェイスブックなど）で発信していく。

③町民ガイドの育成など受け入れ態勢を構築していく

来訪者のニーズに応じたガイドができる町民ガイドさんや、ウェブ上で情報発信をしていくことのできる町民を育成していく。町民を対象としたツアーやイベントなどを継続して開催するなど、徐々に多くの町民を活動に巻き込んでいく。目標は、『町民全員がおもてなしガイド、町民全員が白川町の広告塔』。

④外部応援団や専門家、旅行業者、交通事業者などを巻き込んだ活動の展開

町民だけでなく、外部の様々な組織、個人を巻き込み、効果的に白川町のエコツーリズムを推進していく。

■資料「白川町の魅力的な資源」

※白川町のエコツーリズムを考える会でのワークショップの成果に基づいて整理しました。

○白川町の資源

【アウトドアアクティビティ】BBQ・キャンプファイヤー／川遊び・飛び込み・ラフティング／鯉釣り／やな／うなぎの夜釣り／牧ヶ洞付近の岩場でフリークライミング

【食・農】各地区の農業体験／広野の茶畑／へぼ／河岐で呑む／野田郷／猪肉・鹿肉／佐見とうふ／流しそうめん／白川町産コシヒカリ／きのご採り／どぶろくづくり

【自然】カブトムシ・クワガタ／ホテル／飛水峡／白山神社の大杉／日本で二番目に大きいナラの木／ニッ森の風景／佐見川・佐見のもみじ／

【伝統文化】白山神社／佐久良多神社奥の院／石仏（黒川・中切）／まんぱい／歌舞伎

【ほか】クオーレふれあいの里／手筒花火・NPO 法人手筒会／林業・間伐体験

○四季の見どころ

【春】やっぱり『桜』天王桜など。水戸野のしだれざくらの下で田んぼの代かき体験を。

【夏】夏のアクティブツアー：鮎→ラフティング→手筒花火→BBQ→キャンプ→…。

【秋】『みのりの秋ツアー』：春からの活動の延長で農業体験を。

【冬】『星空』と『ジビエ』。星空観察&しし鍋、ししBBQなど。

【通年】自然を活かした過酷なレース・アクティビティ

(サイクリングレース「ツール・ド・しらかわ」、自衛隊と一緒に山中行進など)

○観光プログラムのアイデア

- ・森づくりツーリズム：地元 NPO 法人どんぐりの会と連携。苗木の育成から、植樹、森の手入れまでをツアー化。
- ・農業体験：各地区の営農組合と連携して、地域コミュニティとしっかりつながる。耕作放棄地の活用も検討。
- ・白川「5」ツアー：地域、川、神社、お寺、その他、白川町内で5つ選ぶ。これらを巡るルートづくり。自転車もしくは歩きで巡るルートを。ストーリーも考える。
- ・大かるた大会 in 黒川：黒川の PR。農業（コシヒカリ）と芸能（地歌舞伎・漫俳）。まんぱいかるた。小中学生が夏休みにつくったまんぱいも使用。